

平成19年度 補正予算
平成20年度 当初予算

(政府案)

外務省所管
一般会計予算

概要と重点事項

平成19年12月24日

目次

○ 平成19年度補正予算2
○ 政府案と過去の推移5
○ 重点外交政策関連予算6
○ 重点外交政策予算	
1. 我が国の平和・安全の確保と アジア・近隣諸国との協力強化	...7
2. グローバルな課題への責任ある取組	・10
3. 力強い外交のための基盤強化	...13
○ ODA予算17

平成19年度補正予算

外務省所管補正予算 2,078億円
(うちODA 765億円)

案件概要

- 緊急性が高く、義務的又は外交上の必要性が高い案件について、補正予算により手当てする。

(カッコ内はODA)

平和構築・人道支援:

対アフリカ平和構築・人道危機対策拠出金

307億円 (289億円)

- スーダン、ソマリア、西アフリカ等の国々の治安と人道状況の大幅改善の取組及び平和構築努力に対する支援。

アフガニスタン人道・復興支援拠出金

103億円 (99億円)

- 安定と復興の正念場にあるアフガニスタンに対する支援。

感染症対策:

世界エイズ・結核・マラリア対策基金拠出金

212億円 (212億円)

- エイズ・結核・マラリア緊急対策支援(一昨年6月、総理から「当面5億ドル」の拠出を公約)。

鳥及び新型インフルエンザ対策拠出金

37億円 (37億円)

- 鳥・ヒトの感染拡大の防止及びヒト・ヒトの感染発生の封じ込めのための緊急対策支援。

我が国周辺地域の安定化:

国際原子力機関(IAEA)核不拡散基金

拠出金

10億円 (10億円)

- 核不拡散問題への対応を目的とするIAEAの活動を支援するための経費。

朝鮮半島エネルギー開発機構(KEDO)

拠出金

90億円

- KEDOに対するJBICの債権の一部償還に係る経費。

日露青年交流委員会拠出金

19億円

- 日露青少年交流拡大に係る経費(ロシア側も経費負担)。

中国遺棄化学兵器・環境調査関係経費

12億円 (12億円)

- 化学兵器禁止条約により廃棄義務が生じた遺棄化学兵器に関する現地調査に係る経費。

その他:

国際連合分担金

362億円 (43億円)

- 国連本部庁舎修築計画等に係る経費。

国際連合平和維持活動(PKO)分担金

899億円 (63億円)

ボスニア和平履行評議会拠出金 **1億円**

IC旅券関係経費

20億円

サミット関係経費

6億円

補正予算の推移 (カッコ内はODA)

平成18年度: 1,833億円 (862億円)

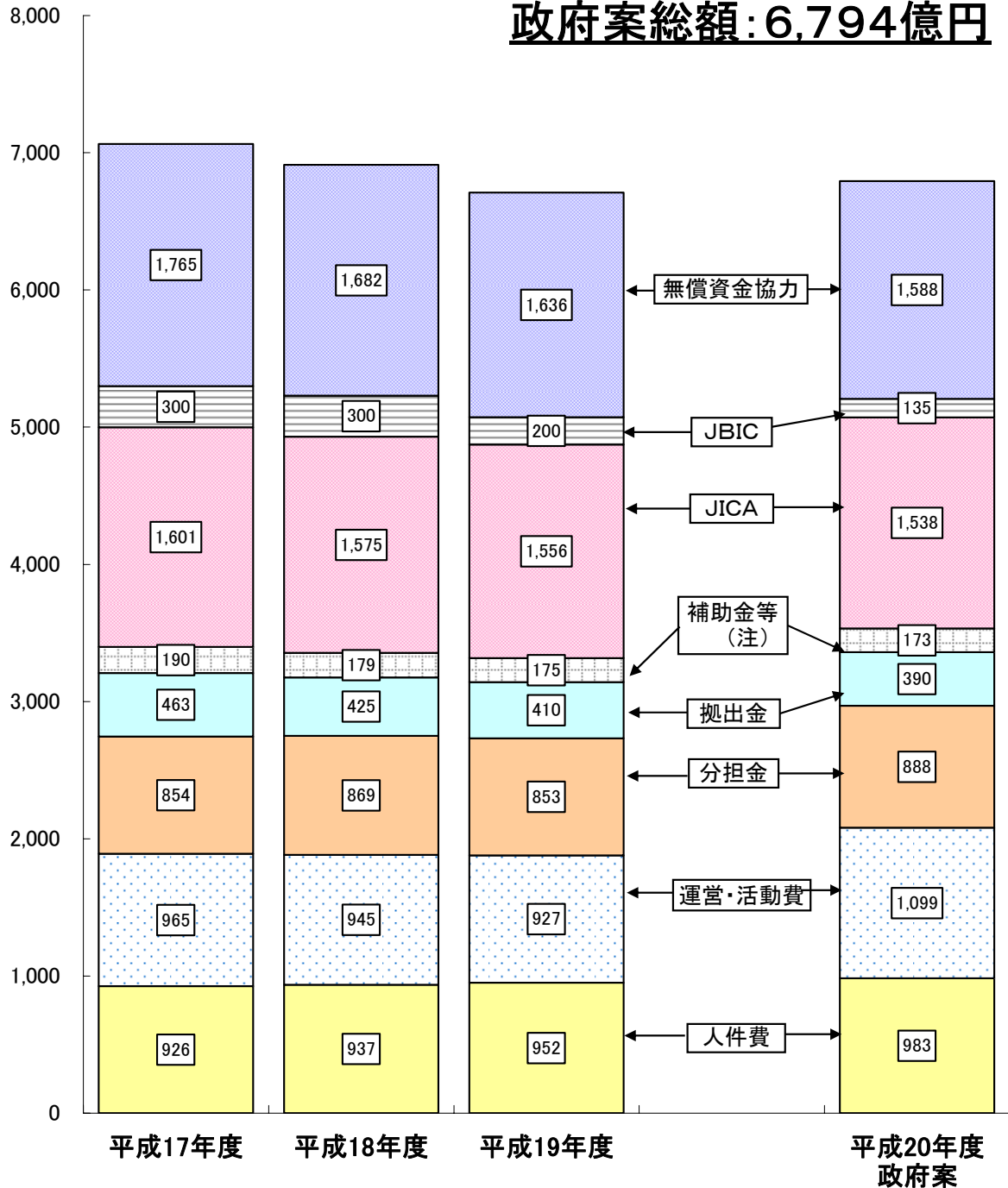
平成17年度: 1,304億円 (323億円)

平成16年度: 939億円 (155億円)

平成20年度外務省予算 (政府案総額と過去の推移)

億円

政府案総額: 6,794億円



7,064億円 (▲ 2.1%) 6,912億円 (▲ 2.2%) 6,709億円 (▲ 2.9%)

6,794億円 (+ 1.3%)

うちODA 4,881 (▲ 2.4%) 4,733 (▲ 3.0%) 4,544 (▲ 4.0%)
 非ODA 2,184 (▲ 1.2%) 2,179 (▲ 0.5%) 2,166 (▲ 0.6%)

4,407 (▲ 3.0%)
2,386 (+10.2%)

(注) 国際交流基金運営交付金を含む。

四捨五入の関係上合計に不一致あり。

重点外交政策関連予算の概要

()内:平成19年度予算額

- 1. 我が国の平和・安全の確保とアジア・近隣諸国との協力強化**
計328.9億円(369.9億円)
- (1) 自由、基本的人権、法の支配等、基本的価値を重視する外交の推進 87.7億円(62.3億円)
 - (2) アジア・近隣諸国との対話・協力の強化と諸懸案の解決 29.8億円(30.3億円)
 - (3) 外交の地平の拡大 211.4億円(277.3億円)

- 2. グローバルな課題への責任ある取組**
計1,962.0億円(1,749.0億円)
- (1) 北海道洞爺湖サミットにおけるリーダーシップの発揮 231.4億円(74.6億円)
 - (2) TICAD IVの成功 106.8億円(51.5億円)
 - (3) ODAの戦略的拡充と地球規模課題の解決に向けたリーダーシップ 1,475.6億円(1,479.0億円)
 - (4) グローバル化への対応と国際ルール強化 139.1億円(136.3億円)
 - (5) エネルギー安全保障 9.2億円(7.6億円)

- 3. 力強い外交のための基盤強化**
計1,004.6億円(979.8億円)
- (1) 外交実施体制の強化 488.4億円(460.3億円)
 - (2) 国民の安全・安心を確保する体制の強化 141.3億円(138.5億円)
 - (3) 戦略的な「発信」体制の強化 277.8億円(284.1億円)
 - (4) 情報収集・分析機能の抜本的強化 97.1億円(96.9億円)

合計: 3,290.3億円 (3,095.2億円、+6.3%)

1.我が国の平和・安全の確保と

アジア・近隣諸国との協力強化

(1) 自由、基本的人権、法の支配等、基本的価値を重視する外交の推進 87.7億円(62.3億円)

- 米との同盟、欧州及び豪州との連携
4.2億円(3.9億円)
- インドとの戦略的グローバル・パートナーシップ
0.2億円(0.2億円)
- CLMV、SAARC、中央アジア、GUAM、V4、西バルカン、トルコ、バルト諸国との対話と協力
37.9億円(40.1億円)
- 基本的人権・民主主義の支援
45.3億円(18.2億円)

(注)

CLMV:カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム

SAARC:南アジア地域協力連合(インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、ネパール、ブータン、モルディブ、アフガニスタン)

GUAM:グルジア、ウクライナ、アゼルバイジャン、モルドバ

V4: ヴィシェグラード4カ国(チェコ、スロバキア、ポーランド、ハンガリー)

1.我が国の平和・安全の確保と
アジア・近隣諸国との協力強化

(2) アジア・近隣諸国との対話・協力の強化と諸懸
案の解決 29.8億円(30.3億円)

- 中国との戦略的互惠関係、韓国との未来志向の
関係 11.8億円(11.9億円)
- ロシアとの戦略的利益に基づくパートナーシップ
1.8億円(3.0億円)
- ・19年度補正 日露青年交流委員会拠出金:18.9億円
- 東アジア首脳会議協力の深化とアジア太平洋地
域協力の重層的な発展 6.2億円(6.2億円)
- 地域の平和の構築・定着 0.7億円(0.6億円)
- 拉致、核、ミサイル等の北朝鮮をめぐる諸懸案の
包括的な解決に向けた努力 0.8億円(0.7億円)
- 領土問題の解決、海洋権益の確保
8.4億円(7.9億円)*

(3)外交の地平の拡大 211.4億円(277.3億円)

- 中東との重層的な関係 0.7億円(0.5億円)*
 - 「平和と繁栄の回廊」構想とイラク、アフガニスタン等の平和の構築・定着
209.4億円(276.4億円)*
- ・19年度補正
アフガニスタン人道・復興支援拠出金: 103.0億円
- 中南米との関係(「日伯交流年(移住100周年)」)
1.2億円(0.4億円)

2.グローバルな課題への 責任ある取組

- (1) 北海道洞爺湖サミットにおけるリーダーシップの発揮 **231.4億円(74.6億円)**
- G8各国との協力強化 **123.6億円(新規)**
 - 環境・気候変動に対する積極的取組 **42.3億円(新規)**
 - テロとの戦い、国際組織犯罪、不拡散等の取組強化 **65.5億円(74.6億円)**
- (2) TICAD IVの成功 **106.8億円(51.5億円)**
- 「元気なアフリカ」のための支援強化 **106.2億円(50.9億円)**
 - サブサハラ各国との関係強化 **0.6億円(0.5億円)**

・19年度補正

対アフリカ平和構築・人道危機対策拠出金：**306.8億円**

(3) ODAの戦略的拡充と地球規模課題の解決に向けたリーダーシップ 1,475.6億円(1,479.0億円)

- 我が国の政策実現のためのODAの活用
84.9億円(66.8億円)
- 新JICA設立に向けたODA実施体制の強化
23.5億円(22.7億円)
- 「人間の安全保障」の推進
119.5億円(119.5億円)
- ミレニアム開発目標の達成、感染症、地球規模問題、防災等の課題の解決への取組(科学技術の利用を含む。)
1,247.7億円(1,270.0億円)

・19年度補正

世界エイズ・結核・マラリア対策基金拠出金： 212.3億円
鳥及び新型インフルエンザ対策拠出金： 36.9億円

(4)グローバル化への対応と国際ルールの強化

139.1億円(136.3億円)

- WTOを中心とする多角的貿易体制の維持・強化及び
EPA/FTA推進(知財保護強化を含む)
92.1億円(83.9億円)
- 安保理改革等国連改革の推進 0.2億円(0.2億円)
- 2008年安保理非常任理事国選挙 0.1億円(新規)
- 軍縮・不拡散の推進(小型武器問題を含む)
46.7億円(52.2億円)

・19年度補正

国際原子力機関(IAEA)核不拡散基金拠出金:10.2億円

(5)エネルギー安全保障 9.2億円(7.6億円)

- エネルギー・資源供給源へのアクセス確保と多様化
8.5億円(7.6億円)
- 核不拡散、原子力安全及び核セキュリティを前提とした原
子力協力の推進 0.6億円(0.1億円) *

3. 力強い外交のための基盤強化

(1) 外交実施体制の強化

- 在外公館とマンパワーの増強
 - 機構：7館新設
(在トンガ大、在グルジア大、在ラトビア大、
在ブルキナファソ大、在モーリタニア大、
在青島総、在ナツシュビル総)
 - (注) 在マカッサル総：廃止
 - 外務省定員の増：純増76人
 - ・他省庁からの派遣分(アタッシェ)23人増と
あわせ、純増99人
 - 在外公館スタッフの増：純増 116人
(専門調査員、派遣員、現地職員等)
- 在外公館の体制強化 433.2億円(406.5億円)
 - 警備強化 63.1億円(60.5億円)
 - 施設費 43.5億円(44.2億円)
 - PFI関係費 3.3億円(2.8億円)
 - 食文化の発信 3.5億円(3.3億円)
 - 在勤手当 304.4億円(278.6億円)

(注) 上記定員増分を加えると、306.0億円。13

3. 力強い外交のための基盤強化

- 企業支援、地方及びNGOとの連携
39.7億円(39.4億円)
 - 企業支援 5.0億円(4.9億円)
 - 地方との連携 3.9億円(3.6億円)*
 - NGOとの連携 30.8億円(30.9億円)
 - 国際貢献に係る人材育成 15.5億円(14.4億円)
 - 国際機関職員派遣信託基金(JPO) 12.1億円(11.0億円)
 - 平和構築(「寺子屋」) 1.8億円(1.8億円)
 - マルチ外交専門家 1.2億円(1.2億円)
- (2) 国民の安全・安心を確保する体制の強化**
141.3億円(138.5億円)
- 多様化する危機への対応 5.7億円(4.1億円)
 - 海外邦人緊急電話対応 1.9億円(1.8億円)

3. 力強い外交のための基盤強化

- 領事サービスの充実 127.7億円(127.2億円)
 - 日本人学校・補習授業校等借料 6.7億円(6.0億円)
 - 海外子女教育謝金 9.0億円(8.7億円)
- 水際対策/国内啓発活動 7.9億円(7.2億円)

(3) 戦略的な「発信」体制

277.8億円(284.1億円)

- 戦略的な情報発信 20.2億円(20.5億円)
 - 外国メディア対応能力強化 0.1億円(新規)
- 理解と共感を得る日本の発信 257.6億円(263.6億円)
 - 日本文化発信プログラム 1.7億円(新規)
 - 国際漫画賞/アニメ文化大使 0.1億円(新規)
 - 国際交流基金拡充 128.9億円(130.5億円)
 - 親日派、知日派との連携 0.5億円(0.3億円)

(4) 情報収集・分析機能の抜本的強化

97.1億円(96.9億円)

- 情報防護体制 91.3億円(91.8億円)
 - カウンター・インテリジェンス強化 0.1億円(新規)
 - 情報セキュリティ強化 4.6億円(2.7億円)
 - 情報ネットワークの整備 32.5億円(27.6億円)
- 情報収集・分析活動 5.8億円(5.1億円)
 - 情報収集・分析能力強化 1.4億円(1.2億円)
 - 先端技術による情報収集 2.2億円(1.8億円)

平成20年度ODA予算

外務省ODA予算総額 4,407.3億円
(4,543.6億円、▲3.0%)

(参考)政府全体のODA予算総額 7,002億円
(7,293億円、▲4.0%)

○ 無償資金協力

1,588.0億円(1,636.0億円、▲2.9%)

- 一般プロジェクト無償(環境・水、保健・感染症、教育、社会基盤整備) 655.3億円(674.9億円)
- ノン・プロジェクト無償 204.0億円(194.0億円)
- 環境プログラム無償 15.0億円(新規)

○ JICA交付金

1,537.9億円(1,556.3億円、▲1.2%)

○ ODA分担金・拠出金

511.4億円(531.8億円、▲3.8%)

○ ODA実施体制の強化

- ODAの理解促進 5.8億円(5.9億円)
- 無償資金協力事後評価 0.7億円(0.6億円)

外務省一般会計

ODA予算の概要 (1)

(単位:億円)

	19年度予算額		20年度政府案	
		対18'増▲減率	対19'増▲減額	対19'増▲減率
JICA交付金	1,556.3	▲1.2%	▲18.4	▲1.2%
無償資金協力	1,636.0	▲2.7%	▲48.0	▲2.9%
JBIC交付金	200.0	▲33.3%	▲65.0	▲32.5%
分担金・拠出金	531.8	▲4.6%	▲20.4	▲3.8%
援助活動支援等	619.6	0.2%	15.5	2.5%
計	4,543.6	▲4.0%	▲136.3	▲3.0%

(注) 四捨五入の関係上合計に不一致あり。

外務省一般会計

ODA予算の概要 (2)

(単位：百万円、%)

区 分	19年度	20年度		
	予算額	政府案	増減額	伸率
外務省ODA予算計	454,359	440,729	▲ 13,631	▲3.0
1. 国際協力機構 (JICA)	155,626	153,786	▲ 1,840	▲1.2
2. 無償資金協力	163,600	158,800	▲ 4,800	▲2.9
(1) 一般プロジェクト無償	67,489	65,531	▲ 1,958	▲2.9
(重点事項： 保健・感染症、水、 教育、社会基盤整備、 ガバナンス)				
(2) ノン・プロジェクト無償	19,400	20,400	1,000	5.2
うち 紛争予防・平和構築無償	12,800	12,000	▲ 800	▲6.3
うち セクター・プログラム無償	5,000	5,600	600	12.0
(3) 草の根・人間の安全保障無償	10,000	10,000	0	0.0
(4) 日本NGO連携無償	2,800	2,800	0	0.0
(5) 人材育成研究支援無償	4,400	4,200	▲ 200	▲4.5
うち 人材育成支援無償	3,900	3,700	▲ 200	▲5.1
うち 研究支援無償	500	500	0	0.0
(6) テロ対策等治安無償	7,200	6,000	▲ 1,200	▲16.7
(7) 防災・災害復興支援無償	3,600	3,600	0	0.0
(8) コミュニティ開発支援無償	4,200	6,000	1,800	42.9
(9) 貧困削減戦略支援無償	600	600	0	0.0
(10) 環境プログラム無償	0	1,500	1,500	新規
(11) 水産無償	4,950	4,807	▲ 143	▲2.9
(12) 文化無償	2,000	2,000	0	0.0
うち 一般文化無償	1,800	1,800	0	0.0
(13) 緊急無償	18,600	14,242	▲ 4,358	▲23.4
うち 復興開発支援分	14,600	8,542	▲ 6,058	▲41.5
うち 民主化支援分	1,000	1,000	0	0.0
(14) 食糧援助	13,440	12,337	▲ 1,103	▲8.2
(15) 貧困農民支援	4,921	4,783	▲ 138	▲2.8
3. 国際協力銀行 (JBIC)	20,000	13,500	▲ 6,500	▲32.5
4. 国際機関への分担金・拠出金	53,177	51,138	▲ 2,039	▲3.8
5. 援助活動支援等	61,956	63,504	1,548	2.5

(注) 四捨五入の関係上合計に不一致あり。